

第9回岡谷諏訪総合技術新校再編実施計画懇話会

日時：令和8年7月17日（金）
午後5時45分～午後7時15分
会場：諏訪市役所
大会議室（5階）

次 第

1 開 会

2 挨 拶

3 自己紹介

4 会議事項

（1）第8回岡谷諏訪総合技術新校再編実施計画懇話会まとめ

（2）校地検討部会報告

（3）再編実施基本計画（案）に係る意見交換

学びのイメージ（第8回懇話会を受けた修正案）

（4）新校に向けた地域連携・学科連携の取組報告

諏訪実業高校 「課題解決型学習（PBL）GROWTH CHALLENGE」

岡谷工業高校 「考える練習ワークショップ」

5 その他

6 閉 会

新校再編実施計画懇話会開催要綱

（目的）

第1 県教育委員会が、統合新校ごとの再編実施計画を策定するにあたり、再編対象校に加えて、対象校が所在する地域の意見を聴くため、「新校再編実施計画懇話会」（以下、「懇話会」という。）を開催する。

なお、懇話会は、地方自治法第138条の4第3項の規定に基づき、法律又は条例により設置された附属機関ではないものとする。

（会議事項）

第2 懇話会は、次の事項について意見交換を行う。

- （1）学校像、教育方針等に関する事
- （2）校地・施設・設備等に関する事
- （3）管理運営等に関する事
- （4）教育内容等に関する事
- （5）その他、県教育委員会が必要と認める事項に関する事

（構成員）

第3 懇話会の構成員は、統合対象校の学校関係者（校長、教職員等）、地域の代表（自治体関係者、産業界の代表等）、同窓会、PTA、生徒の代表等とし、必要に応じ、県教育委員会が依頼する。

2 会議に座長を置く。

（開催期間）

第4 会議は統合新校が開校するまでの間、開催するものとする。

附 則

この要綱は、令和2年10月26日から施行する。

岡谷諏訪総合技術新校再編実施計画懇話会構成員名簿

(敬称略) ※新構成員

○ 座長

		氏名 (座長○)	所属等	役職等
1	自治体	藤澤 正	岡谷市	副市長
2		後藤 慎二	諏訪市	副市長
3		宮坂 享	岡谷市教育委員会	教育長
4		三輪 晋一	諏訪市教育委員会	教育長
5		山田 典史	下諏訪町教育委員会	教育長
6	産業界	高木 克彦	岡谷商工会議所	副会頭
7		白鳥 和美	諏訪商工会議所	副会頭
8	学識経験者	○市川 純章	公立諏訪東京理科大学	地域連携総合センター長
9	地域	宮坂 和幸	セイコーエプソン株式会社人的資本・健康経営本部	総務部長
10		高林 千幸	岡谷蚕糸博物館 (シルクファクトおかや)	館長
11		※山口 恭子	諏訪地域振興局	局長
12	同窓会	小松 壮	(一社) 岡谷工業高等学校同窓会	理事長
13		木村 明美	諏訪実業高等学校同窓会	副会長
14	定時制振興会	山田 幸男	定時制振興会	会長
15	P T A	※矢ヶ崎浩一郎	岡谷工業高等学校 P T A	P T A 会長
16		※清水奈穂子	諏訪実業高等学校 P T A	P T A 会長
17		※小口 翼	岡谷市 P T A 連合会 代表 (長地小)	会長
18		※長谷 亮祐	諏訪市 P T A 連合会 代表 (諏訪中)	会長
19	小中学校等 関係者	※阿部 恵二	諏訪小学校長会 代表	四賀小学校長
20		※牛越 雅紀	諏訪中学校長会 代表	上諏訪中学校長
21		※中島 勇吾	諏訪支援学校	校長
22	再編対象校	高木将太郎	岡谷工業高等学校	生徒会長
23		蛭間聡一郎	岡谷工業高等学校	生徒会副会長
24		※久保田弥生	岡谷工業高等学校	校長
25		清水 哲	岡谷工業高等学校	教職員
26		小池 拓斗	諏訪実業高等学校	生徒会長
27		スズキヒロミ	諏訪実業高等学校	生徒会副会長
28		有賀 浩	諏訪実業高等学校	校長
29		※松下 明世	諏訪実業高等学校	教職員

【事務局】

学校名	氏 名 (役職等)	氏 名 (役職等)
岡谷工業高等学校	(教頭) ※生田 憲克	
	(教諭) 御子柴 久雄、見波 泰、※松島翔、小池 作治、清水 哲	
諏訪実業高等学校	(全日制教頭) ※辻 隆秀、(定時制教頭) 山本正和	
	(教諭) 松下 明世、小川 淳子、※児玉 澄香	

	氏名	所属等	役職等
県教育委員会	柳沢 勝美	高校教育課 高校再編推進室	主幹指導主事
	宮嶋 直美	高校教育課 高校再編推進室	主任指導主事
	※楯 和弘	高校教育課 高校再編推進室	主任指導主事
	※清水 史明	学びの改革支援課	指導主事

第8回 岡谷諏訪総合技術新校再編実施計画懇話会まとめ（案）

日 時	令和8年1月27日（火）17時30分～19時00分		
場 所	諏訪市役所 大会議室（5階）		
出 席 （敬称略） ◎座長	藤澤正、宮坂享、三輪晋一、山田典史、高木克彦、白鳥和美、◎市川純章、宮坂和幸、高林千幸、小松壮、木村明美、山田幸男、宮坂征和、田畑幸司、高坂慎太郎、高木将太郎、蛭間聡一郎、橋詰正克、清水哲、小池拓斗、スズキヒロミ、有賀浩、馬場美江子、以上23名		
欠 席 （敬称略）	後藤慎二、竹花顕宏、宮川美咲、佐藤太郎、飯嶋政泰、増村隆洋、以上6名	傍聴者	10名 報道関係3社
事務局	岡谷工業高校	飯島教頭、御子柴教諭、見波教諭、山口教諭、小池教諭、清水教諭	
	諏訪実業高校	楯教頭（全日制）、山本教頭（定時制）、現田教諭、馬場教諭、小川教諭	
当日資料	第8回懇話会資料（全日制、定時制、学びのイメージ案を含む）、座席図		

会議事項

- （1）第7回岡谷諏訪総合技術新校再編実施計画懇話会まとめ
- （2）校地検討部会報告
- （3）再編実施基本計画（案）に係る意見交換
学びのイメージ、設置課程、設置学科について

意見交換（概要）→事務局 →座長

- （1）第7回岡谷諏訪総合技術新校再編実施計画懇話会まとめ 質問意見なし
- （2）校地検討部会報告 質問意見なし

○12月18日第2回校地検討会議、1月27日に第3回校地検討会議を行った。検討の観点に沿って両校の校地の現況を確認しながら検討している。校地検討部会として議論がまとまったところで、懇話会で報告する。

- （3）再編実施基本計画（案）に係る意見交換

○視察報告に関する質問への回答 質問意見なし

○学びのイメージについて

（意見交換）

・岡谷工業の4学科の融合についてどうやっていくのか。現在、学科を越えた学びの融合、地域連携はどのような状況か。

→課題研究で機械科、電気科、情報技術科が一緒になって一つのテーマを研究するグループがあった。現在は設備が学科ごと分かれているが、施設設備を集約した「ものづくり工房」のような場所ができれば、そこを拠点に学科を越えて一緒に研究できると考えている。また地域連携では、現在各科で大学との連携を行っている。今後はカリキュラムの融合も進めていきたい。

・大学には目的、疑問を持って進学してほしい。就職も同じ。小中学校で基礎学力、高校では世の中との接続を考える。原体験があると覚えたことが定着する。高校時代に問う力、学び続ける力をつけて欲しい。

・学習成果発表会を見た感想（特に学びの融合に関することについて）を聞きたい。

（工業科生徒）学びの意欲に差を感じた。好きなことや、得意なことがある人の発表は際立っていた。

（商業科生徒）服飾科と関わる機会がこれまでなかったと気づいた。地域だけでなく企業とも連携したい。

（服飾科生徒）上級生のファッションショーに感動した。商業科の生徒がHPを作ってくれた。

・専門性の学びと融合した学びはバランスが大事である。商業科の発表の株主総会、学校の外と繋がったリアルな学びが大事、服飾科のショーはここにしかない学び。デザインの視点は全ての学科に繋がるのではないかな。

・諏訪実業高校のファッションショーに出ることを目標にしている小学生がいる。魅力ある学びのために、非常勤の講師を招聘するなどしていただきたい。産業界や会社は、学科の枠組みや教科の枠組みで仕事は区切られていない。学科連携や教科連携について、思いきって学科を取り払って学びを広げてみて、難しい場合は、また検討して変更すればよい。改革はダイナミックに考えてもらえるとありがたい。

- ・諏訪実業高校のショッパーズの中に、岡谷工業も出店し交流した感想を先生に聞きたい。
(感想) 機械技術部のブースとキッズタウンの工場という形で諏実タウンに参加した。来年以降も交流、生徒同士で情報交換していい企画にしたい。来年度さらに広げたい。
- ・学びのイメージの家庭の学びについて、暮らしをデザインすることは、課題解決を意味する。個性を表現するとあるが、着る相手を考えてその人に合った服をデザインするという意味を積極的に入れた方がいい。服飾科の企画力は卓越している。粘り強く諦めずにやり抜く力が実は重要である。
- ・育てたい生徒像「自ら考え挑戦する人」について、挑戦するだけでなく、挑戦したうえで「粘り強く諦めずやり抜く」ことを加えてはどうか。

○設置課程、設置学科について

(事務局提案)

全日制課程と定時制課程を設置する。全日制は工業科、商業科、家庭科を、定時制は普通科を設置することを提案する。小学科は再編実施基本計画案について議会同意を得たところで検討を進める。

(意見交換)

- ・通信制を設置する考えはないか。
- 新校に通信制を併設することは考えていない。南信地区に通信制設置の要望があることは理解しており、配置について検討しているところである。
- ・新しい定時制に単位制を置くか。
- 現在は学年制であるが定時制で学ぶ生徒にとっては、単位制の仕組みが必要と考えているので、導入を検討していきたい。
- ・新校の魅力づくりのためスポーツや新しい学科という考えはなかったか。
- 再編・整備計画【三次】で新校の考えられる姿として、工業、商業、デジタル系の学科が挙げられており、それらについて検討した。デジタルに関する学科を設置することで、今ある工業、商業、家庭の学科を減らすのではなく、デジタル系の学びを共通の学びとして学科をつなぐことを考えている。スポーツ学科の設置の検討は行っていない。
- ・設置学科の検討過程について理解した。私立高校の無償化により私立高校を志望する生徒が増えており、公立高校への影響が大きい。公立高校と私立高校のバランスについて、県ではどのような議論がおこなれているか。
- 公立高校では今年度から3ヶ年計画で各高校が特色化推進を進めている。今年度は県外視察を行ったり、特色化に取り組んだりしている。また、県内公立高校の特色をまとめたポスターを全県の中学校に送り、公立高校の魅力を発信している。長野県では公立と私立の生徒募集については8：2という協定がある。
- ・しっかりと議論が進められているということで、理解した。私立に負けない学校づくりをして欲しい。
- ・岡谷諏訪地域では土木・建築の技術系の社員が不足しているため、その学びも選択肢として考えるのはどうか。関係の業界からも要望があり提案した。
- 持ち帰り課題とする。

⇒設置課程、設置学科について、事務局提案の方向でまとめてよいか。 質問意見なし

○今後の予定について

(事務局)

全日制学びのイメージ 出され意見を検討し、修正案をメールにて構成員にお知らせする。

定時制の学びのイメージ 次回以降の懇話会で引き続き検討。

その他

【次回】

来年度4月以降を予定。

岡谷諏訪総合技術新校(仮称)再編実施基本計画(案)

1 再編統合対象校

諏訪実業高等学校(全日制・定時制)、岡谷工業高等学校(全日制)

2 募集開始(開校)年度

令和____年度

3 活用する校地・校舎

()

4 設置課程・学科及び想定する募集学級数

全日制課程 工業科・商業科・家庭科 3学科あわせて()学級
定時制程 普通科 ()学級

※学科の名称は、今後編成する教育課程等に基づき、開校前年度に決定する。

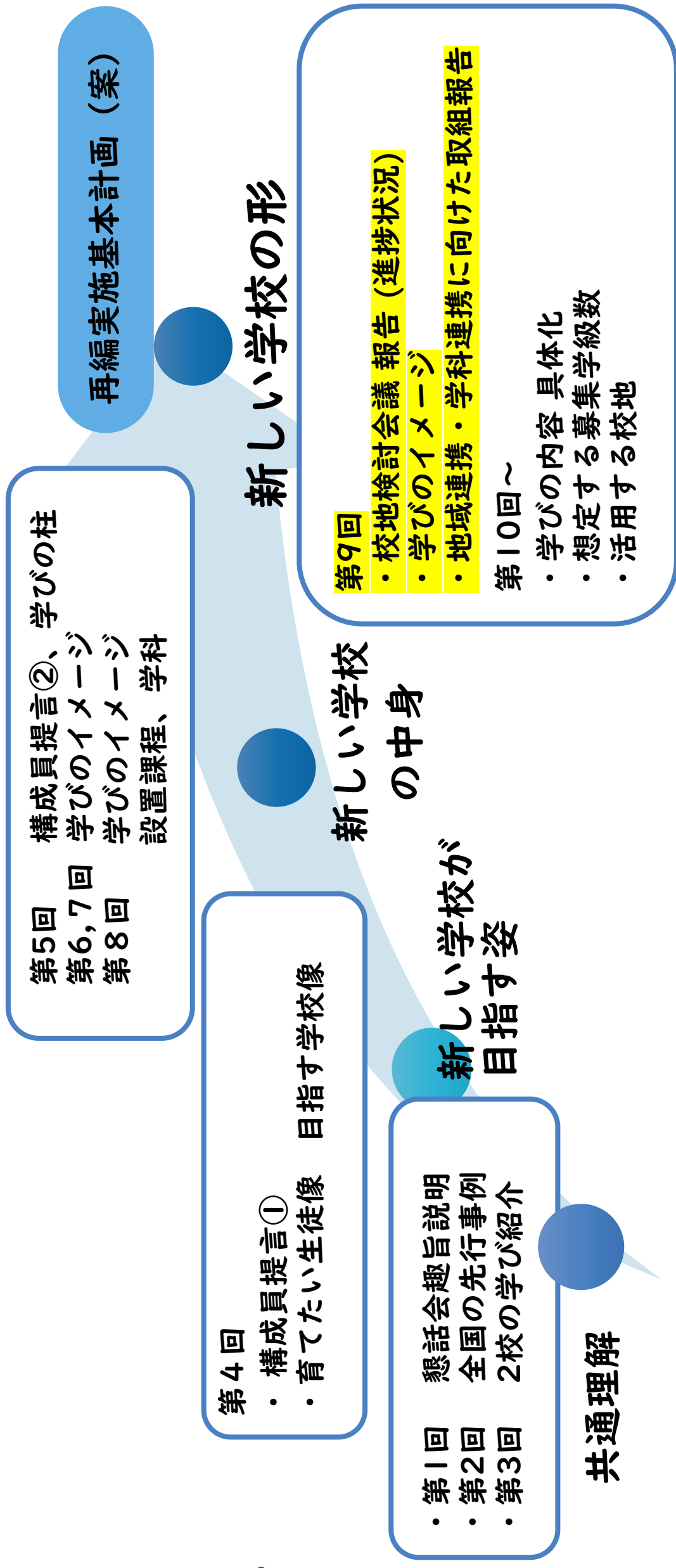
※新校開校時の募集学級数は、毎年度定める「長野県立高等学校生徒募集定員」により開校前年度に決定する。

5 統合新校の学びのイメージ

別紙のとおり

6 施設整備

「再編実施基本計画（案）」策定スケジュール



君たちの未来へ 可能性を伸ばそう 一人ひとりの個性が「ハーモニーを奏でる」学校

2
VOL.

生徒一人ひとりが「なりたい自分」を見つけるために、自ら考えて努力し、自己実現を目指す学校です。生徒の個性を尊重し、安心・安全な居場所をつくることで、生徒のペースに合った学びを目指すとともに、多様な仲間と接することで柔軟な心と豊かな人間性を育て、未来の社会を支える人材を育成します。

目指す学校像

- ▶ 生徒一人ひとりの個性を尊重する、安心・安全な居場所となる学校。
- ▶ 相手を尊重し、自己を肯定できる心を養い、地域社会で自立できる人材を育てる学校。

育てる生徒像

▶ 自ら考え、挑戦するひと

自分の未来に向け「なりたい自分」を築き上げ、その実現のために可能性を伸ばし、自分の能力を高め努力することができるひと。

▶ 豊かな社会性と人間性をもったひと

多様化する社会において、異なる価値観を持つ人々とも協調して物事に取り組むことができるひと。

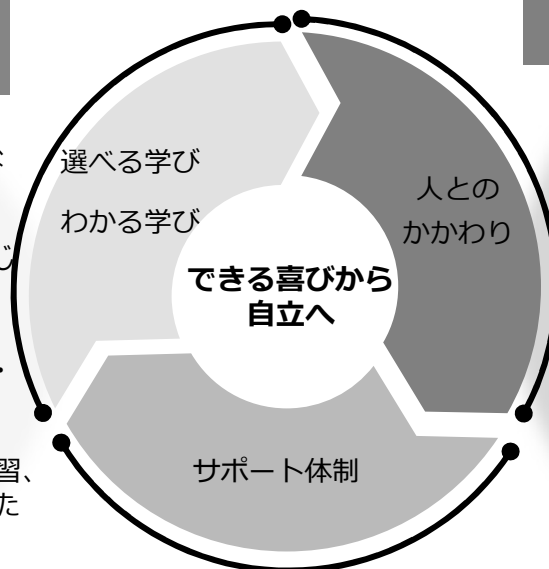
学びの柱

- ▶ 柔軟でゆとりあるカリキュラムによる一人ひとりの生活・学習スタイルを大切にした学び
- ▶ 様々な選択肢がある学校設定科目による主体的でわかる学び
- ▶ 体験を通じて、人・社会とのつながる学びで、多様な価値観に触れながら自分を見つめる学び、キャリア教育

ゆとりある柔軟なカリキュラム
～多様な学びの選択肢～

- ▶ 個々の状況や進路に応じた柔軟な学習のしくみ。
(3年間での卒業、ICTを活用し、一人一人の理解度や学習状況に応じた学び)

- ▶ 多様な学校設定科目による興味・関心や学習ニーズに応じた学び
(基礎から丁寧に学び直す科目、コミュニケーションスキルを育成する学習、工業・商業・家庭科の施設を活用した実践的な学びなど)



キャリア教育の充実

～人とつながり自分を見つめる～

- ▶ 自己理解を深める体験活動
(学年を越えた活動、行事
地域の人との交流)
- ▶ これからの生き方を考える学び
(先輩の話、企業見学など)
- ▶ 多様で柔軟な単位認定
(行事への参加、アルバイト、ボランティア活動等 (研究中))

安心して学べるサポート体制

- ・居場所を選べる ゆとりある空間とつながりの場
- ・メンター相談日 学校の職員以外からのサポート
保健師、大学生など

君たちの未来へ 可能性を伸ばそう 一人ひとりの個性が「ハーモニーを奏でる」学校

3
VOL.

「なりたい自分」を見つけ、その実現に向けて一歩ずつ歩み続けることを応援する学校です。社会とのつながりを広げたい人、自分のペースで着実に成長したい人、一人ひとりの個性や可能性を大切にします。安心して過ごせる居場所の中で、多様な出会いを重ねながら豊かな人間性を育み、未来の社会を支える人を育てます。

目指す学校像

- ▶ 生徒一人ひとりの個性を尊重し、安心・安全な居場所となる学びの場。
- ▶ 一人ひとりの学習ニーズにこたえ、きめ細やかなサポートによって生徒が充実感を得られる学びを目指す学びの場。
- ▶ 毎日の学校生活を通して粘り強さを培い、互いの経験や価値観を認め合う中で、他者を尊重し自己を肯定する心を養い、社会で自立し活躍できる人を育てる学びの場。

なりたい自分像

- ▶ **創造・チャレンジ** 自分の可能性を伸ばし「なりたい自分」の実現のために夢中になって努力することができる人。
- ▶ **豊かな社会性と人間性** 異なる価値観を持つ人々と協働して物事に取り組むことができる人。
- ▶ **未来を支える人** 何事にもこつこつ取り組み、地域を思い、社会に貢献できる人。

学びの柱

- ▶ 柔軟なカリキュラムによる生徒一人ひとりの生活・学習スタイルを大切にした学び
- ▶ 多彩な学校設定科目による自ら選び深める学び 施設を活用した体験的な学び
- ▶ 人・社会とのつながる学び 多様な価値観に触れながら自分をみつめる学び

3年間でしっかり

単位制

4年間でじっくり

柔軟なカリキュラム 選べる学び

人・社会とつながる 自分をみつめる キャリア教育

相談体制、SC、SSW、メンターのサポート

安心して学べるサポート

相談できるスペースや環境

【柔軟なカリキュラム】

- ▶ 多彩な科目選択を通して自分らしい学びを実現する学習システム
 - ・基礎から丁寧に学ぶ科目
 - ・コミュニケーションスキル育成の科目
 - ・世の中を知る教養の科目 など
- ▶ ICTを活用した個々の理解度や学習状況に応じた学び
- ▶ 遠隔教育システムを活用した進路に対応した学び
- ▶ 全日制（工業・商業・家庭科）の施設を活用した体験的な学び
- ▶ 柔軟な単位認定
 - ・通信制との連携
 - ・課外活動
 - ・インターンシップや体験活動
 - ・社会との関わりやボランティア活動

【人・社会とつながる 自分をみつめる】

- ▶ 自己を見つめ、他者を知る学び、生き方を考える学び
 - ・学年を越えた協働する活動、行事
 - ・自分をみつめる活動と発表
- ▶ 社会とつながる学び
 - ・企業・団体との交流
 - ・インターンシップや体験活動
 - ・社会で活躍する人との対話

地域とともに未来を創るものづくり教育 「創造」と「挑戦」の学び舎

3

VOL.

生徒一人ひとりが自分の「やってみたい」を見つけ、自ら考えて挑戦し、夢の実現を目指す学校です。商業・工業・家庭の分野を専門的かつ横断的に学び、地域をフィールドに企業・自治体・大学・地域の人々と連携した実践的な学びで、柔軟な心と豊かな人間性を育て未来の社会を支える人材を育成します。

目指す学校像

- ▶▶ 専門性を高めるとともに、学科の枠を越えた連携や学びの融合を通して、生徒一人ひとりの「夢」を「現実」にできる学校。
- ▶▶ 一人ひとりを大切に、互いに認め合い、柔軟な心と豊かな人間性、社会性を育む学校。
- ▶▶ 実社会や地域産業、大学と連携して、実践的な課題解決プログラムに取り組み、持続的発展のために環境問題・社会課題に挑む人材を育てる学校。

育てる生徒像

- ▶▶ **自ら考え、挑戦するひと**
自ら考え何事にも一生懸命に取り組める生徒。壁を乗り越える実行力と挑戦への意欲を持ち、学びを深めて学びつづけるひと。
- ▶▶ **専門性の上に、広い視野を持ち、新たな「価値」「もの」を創造するひと**
専門の学びと、他の分野に触れる機会を通して、多角的な視点を持つことで広い視野を持ち、「価値」「もの」を創造するひと。
- ▶▶ **豊かな社会性と人間性をもったひと**
多様な他者との関わり学びあう中で、豊かなコミュニケーション力を身につけ、互いを尊重しながら協働的に課題に取り組むことができるひと。
- ▶▶ **地域の未来を支え貢献できるひと**
自主・自立・主体的に学ぶ姿勢を大切に、地域と共に学び地域への思いを育み、未来の社会を支え貢献できるひと

学びの柱

- ▶ 専門的な学びと分野横断的な学びから多角的な視点を持つことで、広い視野を持ち、幅広い知識とスキルを身につける学び。
- ▶ 地域をフィールドに、地域と連携した実践的な実走する学びを通して技術と創造性を育む学び。

学びの連携融合 分野横断的な学び

ビジネス基礎科目を1年全員が学ぶ

探究協働プロジェクト（学科ミックス）から課題研究へ深化

多様な進路に対応する柔軟な学び

他学科の科目を学べる「総合選択科目」

専門家（本物）と出会うキャリア教育

学校間連携・インターンシップ等の柔軟な単位認定

専門的な資格取得

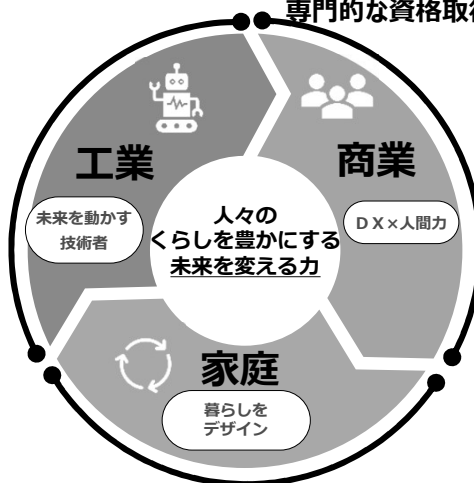
機械・電気・情報の力を組み合わせて未来を動かす技術者へ。

～ものづくりの基本、エネルギーと制御、デジタル技術を学びます。それぞれの技術を融合し、ロボットやスマート社会を支える技術者を目指します～

これまでの学び → 新校の学び

専門性を追求し、地域や大学との連携を通じた技術者の育成

・地域企業との共同プロジェクトの実践。
・産学連携による課題解決型学習（PBL）の実践。
（例）
企業と共に商品開発、自治体と企業、大学の学生と共に工業の魅力発信、地元技術者との交流



ビジネスとITで地域を創造し、豊かな社会と未来をつくる人材の育成

～ビジネスを学び、コンピュータ活用能力と情報アプリケーション開発、情報システムを企画、設計・運用できる人材の育成を目指します～

これまでの学び → 新校の学び

簿記会計・マネジメント・情報の各分野ごとの学び

・新たな仕組みと技術で世界を創造する学び
・ビジネス活動に役立つデータ分析、データ活用に関する学び
・現実のフィールドに飛び出す実践的な学び

個性を表現する1着を描き、作り上げる技術力をつける

～服飾に関する学びを通して感性を磨き、創造力、表現力、行動力を身につけ、様々な分野で活躍できる人を育てます～

多様な人間関係・学びの交流の促進

ミックスホームルーム

❖ 開かれた交流スペース

学年・学科に縛られない合同ゼミ

❖ 学びの交流が生まれるフレキシブルでゆとりのある空間

これまでの学び → 新校の学び

検定取得や、習得した知識、技術を生かした衣装製作

・専門家や地域の人材による専門性の高い学び
・アパレルCADの活用
・環境に配慮し、地域と協働する学び

地域・企業・大学と連携する実践的

地域連携協働実習

地域を中心とした連携コンソーシアム

❖ 地域と生徒、誰もがアクセスしやすい学びあう空間

校外演習日 校外実習の単位認定

地域とともに未来を創るものづくり教育 「創造」と「挑戦」の学び舎

検討原案

4

VOL.

生徒一人ひとりが自分の「やってみたい」を見つけ、自ら考えて挑戦し、夢の実現を目指す学校です。商業・工業・家庭の分野を専門的かつ横断的に学び、地域をフィールドに企業・自治体・大学・地域の人々と連携した実践的な学びで、柔軟な心と豊かな人間性を育て未来の社会を支える人材を育成します。

目指す学校像

- ▶ 専門性を高めるとともに、学科の枠を越えた連携や学びの融合を通して、生徒一人ひとりの「夢」を「現実」にできる学校。
- ▶ 一人ひとりを大切に、互いに認め合い、柔軟な心と豊かな人間性、社会性を育む学校。
- ▶ 実社会や地域産業、大学と連携して、実践的な課題解決プログラムに取り組み、持続的発展のために環境問題・社会課題に挑む人材を育てる学校。

なりたい自分像

- ▶ **自ら考え、粘り強く挑戦するひと**
自ら考え何事にも一生懸命に取り組めるひと。**あきらめず**、実行力と挑戦する意欲を持ち、壁を乗り越え学びを深めて学びつづけるひと。
- ▶ **専門性の上に、広い視野を持ち、新たな「価値」「もの」を創造するひと**
専門の学びと、他の分野に触れる機会を通して、多角的な視点を持つことで広い視野を持ち、「価値」「もの」を創造するひと。
- ▶ **豊かな社会性と人間性をもったひと**
多様な他者との関わり学びあう中で、豊かなコミュニケーション力を身につけ、互いを尊重しながら協働的に課題に取り組むことができるひと。
- ▶ **地域の未来を支え貢献できるひと**
自主・自立・主体的に学ぶ姿勢を大切に、地域と共に学び地域への思いを育み、未来の社会を支え貢献できるひと。

学びの柱

- ▶ 専門的な学びと分野横断的な学びから多角的な視点と、広い視野を持ち、幅広い知識とスキルを身につける学び。
- ▶ 地域をフィールドに、地域と連携した実践的な実走する学びを通して技術と創造性を育む学び。

学びの連携・融合 分野横断的な学び

ビジネス基礎科目を1年全員が学ぶ

探究協働プロジェクト（学科ミックス）から課題研究へ深化

多様な進路に対応する柔軟な学び

他学科の科目を学べる「総合選択科目」

専門家（本物）と出会うキャリア教育

学校間連携・インターンシップ等の柔軟な単位認定 専門資格取得

多様な人間関係・交流の促進

ミックスホームルーム

学年・学科に縛られない合同ゼミ

❖開かれた交流スペース ゆとりあるフレキシブルな空間

仲間と挑戦し、粘り強く自らを高める学び

運動部・文化部とともに活発な部活動

生徒会が中心となった学校行事の企画・運営

課外活動やボランティア活動による社会とのつながり

問いをもち探究し続ける学び



地域・企業・大学と連携する実践的な学び

地域連携協働室地域を中心とした連携コンソーシアム

❖ 地域と生徒、誰もがアクセスしやすい学びあう空間

校外演習日 校外実習の単位認定

工業科

機械・電気・情報の力を組み合わせて未来を動かす技術者へ。

ものづくりの基本、エネルギーと制御、デジタル技術を学びます。それぞれの技術を融合し、ロボットやスマート社会を支える技術者を目指します。

新校の学び

継続検討

- ・地域企業との共同プロジェクトの実践。
- ・産学連携による課題解決型学習（PBL）の実践。
- （例）企業と共に商品開発自治体と企業、大学の学生と共に工業の魅力発信、地元技術者との交流

家庭科

人を幸せにする個性を表現する1着を描き、作り上げる企画力と技術力をつける

服飾に関する学びを通して感性を磨き、創造力、表現力、企画力、行動力を身につけ、様々な分野で活躍できる力をつける。

新校の学び

継続検討

- ・専門家や地域の個性の高い学び
- ・アパレルCADの活用
- ・環境に配慮し、地域と協働する学び

商業科

DX（デジタルトランスフォーメーション）で新たな価値を生み出す『人』づくり

ビジネスにおける実践的知識を学び、デジタル技術と豊かな人間力を備えた職業人を目指します。

新校

継続検討

- ・新たな仕組みと技術で世界を創造する学び
- ・ビジネス活動に役立つデータ分析、データ活用に関する学び
- ・現実のフィールドに飛び出す実践的な学び